

平成 23 年度秦野市 Web アンケート調査
(第 1 回目)
報告書

平成 23 年 7 月

秦野市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の設計及び回収結果	3
3	アンケートの調査項目	3
4	調査結果をみる上での注意事項	3
II	調査結果（第1回目）	5
1	属性	7
(1)	性別	7
(2)	年齢	7
(3)	居住地区	7
2	住宅用火災警報器の設置義務化について	8
(1)	住宅用火災警報器の設置有無	8
(2)	住宅用火災警報器を設置していない理由	9
3	電子申請・届出サービスについて	10
(1)	秦野市の電子申請・届出サービスの利用経験	10
(2)	未利用者における電子申請・届出サービスの認知度	11
(3)	電子申請・届出サービスのイメージ	12
(4)	電子申請・届出サービスに対して希望すること・重視すること	14
(5)	電子申請・届出サービスで今後利用したい分野	15
4	市民による自治活動（住民自治）について	16
(1)	市民と行政との協働・連携によるまちづくりの進展について	16
(2)	まちづくりや市政への参加や協働を推進する上での問題点・課題	17
(3)	住民自治の実現のために、市民と行政との望ましいと思う自治のあり方	19
(4)	地域住民自らが地域の課題に取り組むことができる仕組みとして望ましいもの	20

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

2 調査の設計及び回収結果

本調査の実施方法は以下のとおりである。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約2600人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査
⑦ 調査期間	平成23年6月10日～6月15日
⑧ 調査機関	社団法人輿論科学協会

3 アンケートの調査項目

住宅用火災警報器の設置義務化、電子申請・届出サービス、市民による自治活動（住民自治）について調査項目を設定した。

4 調査結果をみる上での注意事項

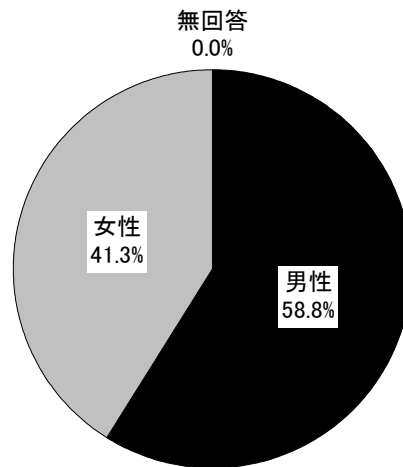
- ① 回答はn（有効回収数）を基準とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。
このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。

Ⅱ 調査結果（第1回目）

1 属性

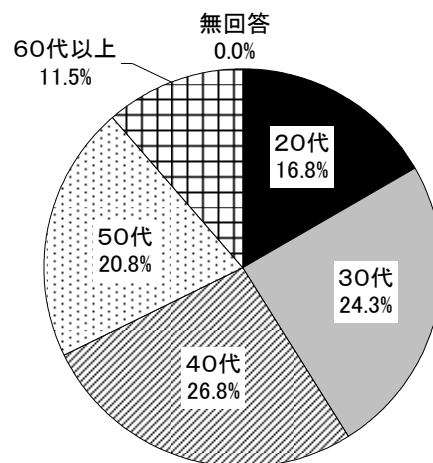
(1) 性別

n=400



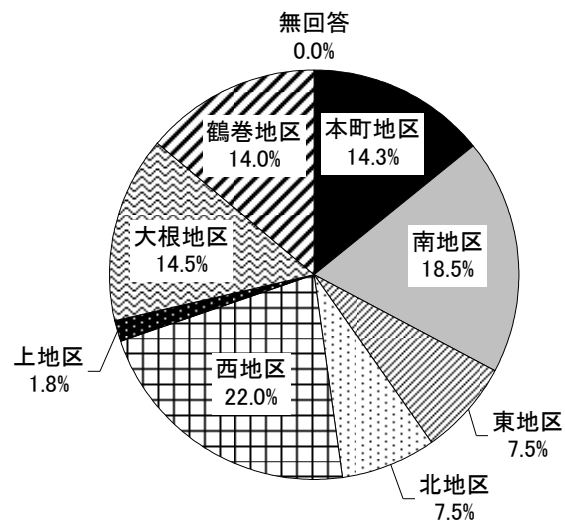
(2) 年齢

n=400



(3) 居住地区

n=400



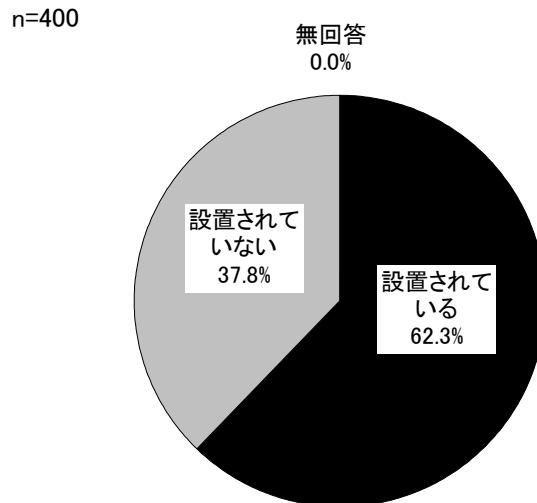
2 住宅用火災警報器の設置義務化について

(1) 住宅用火災警報器の設置有無

住宅用火災警報器の設置有無については、「設置されている」が62.3%となっており、6割を超えている。

なお、今年1月の調査でも同様の質問を設けており、「設置されている」が51.0%だった。この約5ヶ月間で1割程度増えた一方、4割弱が未設置の状況である。

□ Q1. 平成23年6月から、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられましたが、あなたの家には、住宅用火災警報器(または自動火災報知設備)が設置されていますか。



性別でみると、男性で「設置されている」が64.7%と女性に比べやや高いものの、大きな差はみられない。

年代別でみると、60代以上で「設置されている」が56.5%とやや低くなっている。

		住宅用火災警報器の設置有無			
		全体 (実数)	設置されて いる	設置されて いない	無回答
全体		400	62.3	37.8	0.0
性別	男性	235	64.7	35.3	0.0
	女性	165	58.8	41.2	0.0
年代	20代	67	62.7	37.3	0.0
	30代	97	61.9	38.1	0.0
	40代	107	66.4	33.6	0.0
	50代	83	60.2	39.8	0.0
	60代以上	46	56.5	43.5	0.0
性別 × 年代	男性計	235	64.7	35.3	0.0
	20代	35	60.0	40.0	0.0
	30代	50	68.0	32.0	0.0
	40代	60	65.0	35.0	0.0
	50代	55	65.5	34.5	0.0
	60代以上	35	62.9	37.1	0.0
	女性計	165	58.8	41.2	0.0
	20代	32	65.6	34.4	0.0
	30代	47	55.3	44.7	0.0
	40代	47	68.1	31.9	0.0
50代	28	50.0	50.0	0.0	
60代以上	11	36.4	63.6	0.0	

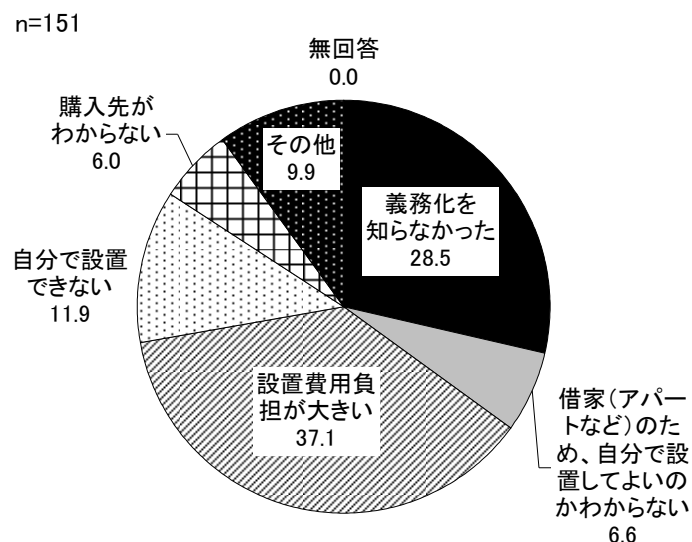
(2) 住宅用火災警報器を設置していない理由

未設置者に設置していない理由を聞いたところ、「設置費用負担が大きい」が 37.1%と最も高く、次いで「義務化を知らなかった」(28.5%)、「自分で設置できない」(11.9%)の順となっている。

「その他」の内容としては、「機種選定に手間取っている」(50 代男性)や「何となく面倒」(60 代男性)などの意見があった。

□ Q1-1. ■前問で「設置されていない」とお答えの方にお伺いします■

設置していない理由は何ですか。最も大きな理由を1つお選びください。



性別で見ると、女性で「自分で設置できない」が 17.6%とやや高くなっている。なお、「義務化を知らなかった」は男女の差はみられない。

年代別で見ると、「設置費用負担が大きい」が 30代で 43.2%、40代で 44.4%とやや高くなっている。また、20代で「義務化を知らなかった」が 44.0%と高くなっている(※サンプル数が少ないため参考値)。

		住宅用火災警報器を設置していない理由								
		全体 (実数) (%)	義務化を 知らなかった	借家(アパ ート等)のた め、設置して よいかわ からない	設置費用負 担が大きい	自分で設置 できない	購入先が わからない	その他	無回答	
全体		151	28.5	6.6	37.1	11.9	6.0	9.9	0.0	
性別	男性	83	28.9	8.4	34.9	7.2	6.0	14.5	0.0	
	女性	68	27.9	4.4	39.7	17.6	5.9	4.4	0.0	
年代	20代	25	44.0	12.0	24.0	16.0	4.0	0.0	0.0	
	30代	37	27.0	8.1	43.2	10.8	5.4	5.4	0.0	
	40代	36	25.0	8.3	44.4	11.1	8.3	2.8	0.0	
	50代	33	21.2	3.0	33.3	12.1	9.1	21.2	0.0	
	60代以上	20	30.0	0.0	35.0	10.0	0.0	25.0	0.0	
性別 × 年代	男性計		83	28.9	8.4	34.9	7.2	6.0	14.5	0.0
		20代	14	42.9	14.3	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0
		30代	16	31.3	6.3	31.3	12.5	6.3	12.5	0.0
		40代	21	23.8	14.3	47.6	4.8	9.5	0.0	0.0
		50代	19	21.1	5.3	36.8	5.3	5.3	26.3	0.0
		60代以上	13	30.8	0.0	30.8	0.0	0.0	38.5	0.0
	女性計		68	27.9	4.4	39.7	17.6	5.9	4.4	0.0
		20代	11	45.5	9.1	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0
		30代	21	23.8	9.5	52.4	9.5	4.8	0.0	0.0
		40代	15	26.7	0.0	40.0	20.0	6.7	6.7	0.0
	50代	14	21.4	0.0	28.6	21.4	14.3	14.3	0.0	
	60代以上	7	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	

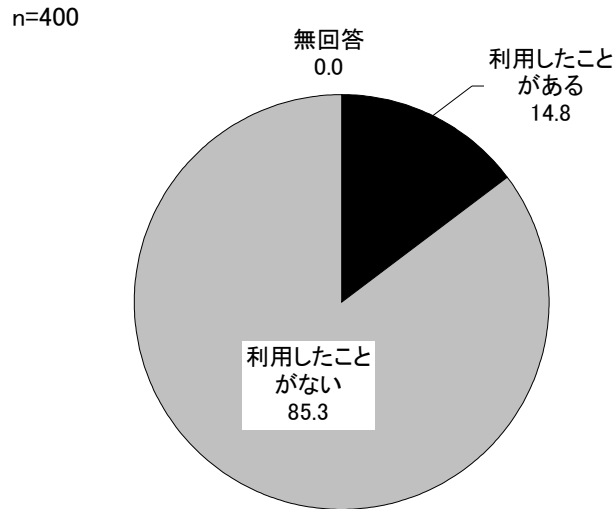
3 電子申請・届出サービスについて

(1) 秦野市の電子申請・届出サービスの利用経験

秦野市の電子申請・届出サービスの利用経験についてたずねたところ、「利用したことがある」が14.8%、「利用したことがない」が85.3%となっている。

※本章を含め、この調査は WEB アンケートによる回答のため、調査対象者がすべてインターネットの利用者であることに留意してデータを見る必要がある。

□ Q2.あなたは、秦野市の電子申請・届出サービスを利用したことがありますか。



性別では、大きな差はみられない。

年代別で見ると、「利用したことがある」が20代で7.5%と低くなっている一方、60代以上で23.9%と高くなっている。

		秦野市の電子申請・届出サービスの利用経験			
		全体 (実数)	利用したこ とがある	利用したこ とがない	無回答
全体		400	14.8	85.3	0.0
性別	男性	235	13.6	86.4	0.0
	女性	165	16.4	83.6	0.0
年代	20代	67	7.5	92.5	0.0
	30代	97	16.5	83.5	0.0
	40代	107	15.0	85.0	0.0
	50代	83	13.3	86.7	0.0
	60代以上	46	23.9	76.1	0.0
	男性計	235	13.6	86.4	0.0
性別 × 年代	20代	35	2.9	97.1	0.0
	30代	50	16.0	84.0	0.0
	40代	60	11.7	88.3	0.0
	50代	55	18.2	81.8	0.0
	60代以上	35	17.1	82.9	0.0
	女性計	165	16.4	83.6	0.0
	20代	32	12.5	87.5	0.0
	30代	47	17.0	83.0	0.0
	40代	47	19.1	80.9	0.0
	50代	28	3.6	96.4	0.0
60代以上	11	45.5	54.5	0.0	

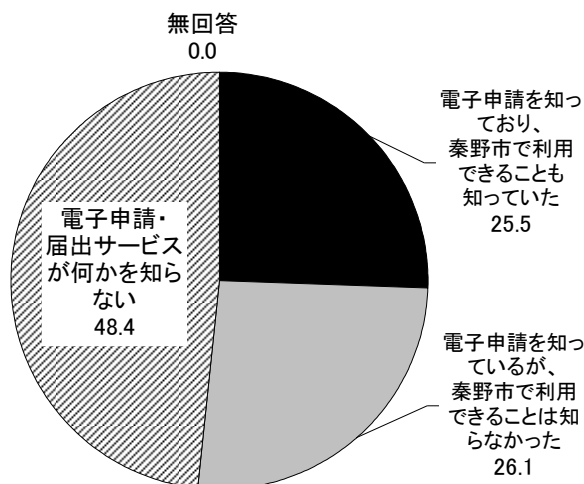
(2) 未利用者における電子申請・届出サービスの認知度

秦野市の電子申請・届出サービスを「利用したことがない」と答えた人に、電子申請・届出サービスの認知度についてたずねた。

「電子申請・届出サービスを知っており、秦野市で利用できることも知っていた」が25.5%、「電子申請・届出サービスを知っているが、秦野市で利用できることは知らなかった」が26.1%となっており、未利用者でも約半数が電子申請・届出サービスを知っていると回答している。

□ Q2-1. ■前問で「利用したことがない」とお答えの方にお伺いします■
あなたは、電子申請・届出サービスについて、ご存知でしたか。

n=341



性別でみると、女性で「電子申請・届出サービスが何かを知らない」が57.2%とやや高くなっている。年代別でみると、「電子申請・届出サービスが何かを知らない」が20代で67.7%と高くなっている一方、60代以上で34.3%と低くなっている。

		未利用者における電子申請・届出サービスの認知度					無回答
		全体 (実数)	電子申請・ 届出サービス を知っている	秦野市で利 用できること も知っていた	秦野市で利 用できること は知らな かった	電子申請・ 届出サービス が何かを知 らない	
全体		341	51.6	25.5	26.1	48.4	0.0
性別	男性	203	57.6	25.6	32.0	42.4	0.0
	女性	138	42.8	25.4	17.4	57.2	0.0
年代	20代	62	32.3	11.3	21.0	67.7	0.0
	30代	81	48.1	27.2	21.0	51.9	0.0
	40代	91	60.4	34.1	26.4	39.6	0.0
	50代	72	54.2	23.6	30.6	45.8	0.0
	60代以上	35	65.7	28.6	37.1	34.3	0.0
性別 × 年代	男性計	203	57.6	25.6	32.0	42.4	0.0
	20代	34	38.2	11.8	26.5	61.8	0.0
	30代	42	54.8	31.0	23.8	45.2	0.0
	40代	53	60.4	32.1	28.3	39.6	0.0
	50代	45	64.4	24.4	40.0	35.6	0.0
	60代以上	29	69.0	24.1	44.8	31.0	0.0
	女性計	138	42.8	25.4	17.4	57.2	0.0
	20代	28	25.0	10.7	14.3	75.0	0.0
	30代	39	41.0	23.1	17.9	59.0	0.0
	40代	38	60.5	36.8	23.7	39.5	0.0
50代	27	37.0	22.2	14.8	63.0	0.0	
60代以上	6	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	

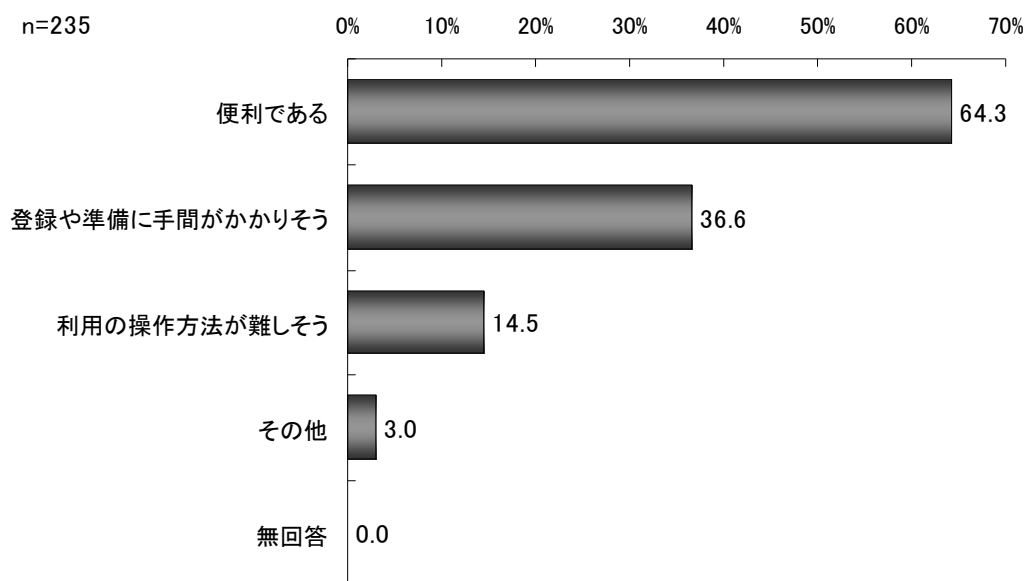
(3) 電子申請・届出サービスのイメージ

利用者・未利用者を含めた電子申請・届出サービスを知っている人に、そのイメージについて聞いたところ、「便利である」が64.3%と最も高くなっている。一方、「登録や準備に手間がかかりそう」が36.6%、「利用の操作方法が難しそう」は14.5%となっている。

「その他」の内容としては、「情報漏えいが怖い」(30代女性)や「まだ信頼性について不安がある」(50代女性)などの意見があった。

□ Q3.電子申請・届出サービスについて、どのようなイメージをお持ちですか。[複数回答]

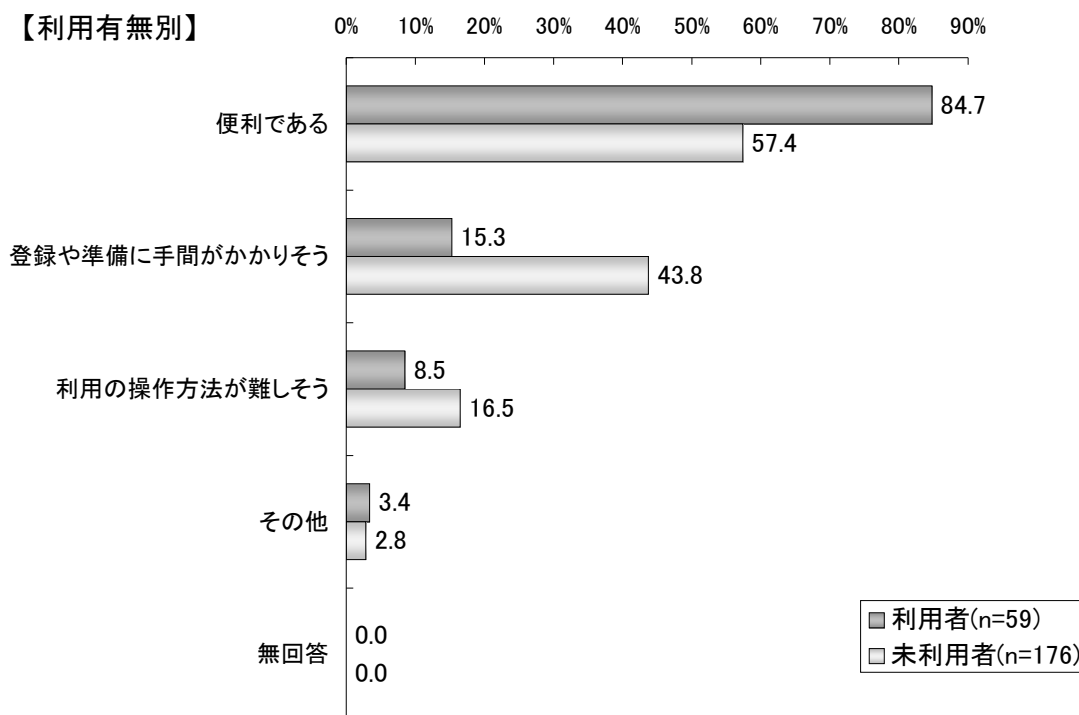
(「電子申請・届出サービスが何かを知らない」という方を除く235名に聞いた)



性別でみると、女性で「利用の操作方法が難しそう」が19.8%とやや高くなっている。年代別でみると、30代で「便利である」が74.5%と高くなっている。

		電子申請・届出サービスのイメージ [複数回答]					
		全体 (実数)	便利である	登録や準備 に手間がか かりそう	利用の操作 方法が難し そう	その他	無回答
全体		235	64.3	36.6	14.5	3.0	0.0
性別	男性	149	65.8	36.9	11.4	1.3	0.0
	女性	86	61.6	36.0	19.8	5.8	0.0
年代	20代	25	56.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	30代	55	74.5	32.7	16.4	5.5	0.0
	40代	71	67.6	39.4	12.7	1.4	0.0
	50代	50	56.0	40.0	10.0	4.0	0.0
	60代以上	34	58.8	29.4	17.6	2.9	0.0
性別 × 年代	男性計	149	65.8	36.9	11.4	1.3	0.0
	20代	14	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0
	30代	31	71.0	35.5	12.9	3.2	0.0
	40代	39	71.8	38.5	7.7	0.0	0.0
	50代	39	56.4	43.6	10.3	2.6	0.0
	60代以上	26	61.5	30.8	15.4	0.0	0.0
	女性計	86	61.6	36.0	19.8	5.8	0.0
	20代	11	36.4	54.5	27.3	0.0	0.0
	30代	24	79.2	29.2	20.8	8.3	0.0
	40代	32	62.5	40.6	18.8	3.1	0.0
50代	11	54.5	27.3	9.1	9.1	0.0	
60代以上	8	50.0	25.0	25.0	12.5	0.0	

電子申請・届出サービスのイメージについて、利用有無別でまとめたのが、以下のグラフである。利用者で「便利である」が84.7%と8割を超え高くなっている一方、未利用者は57.4%と6割以下にとどまっている。また、「登録や準備に手間がかかりそう」は、利用者の15.3%に対し、未利用者が43.8%と大きく差が開いている。



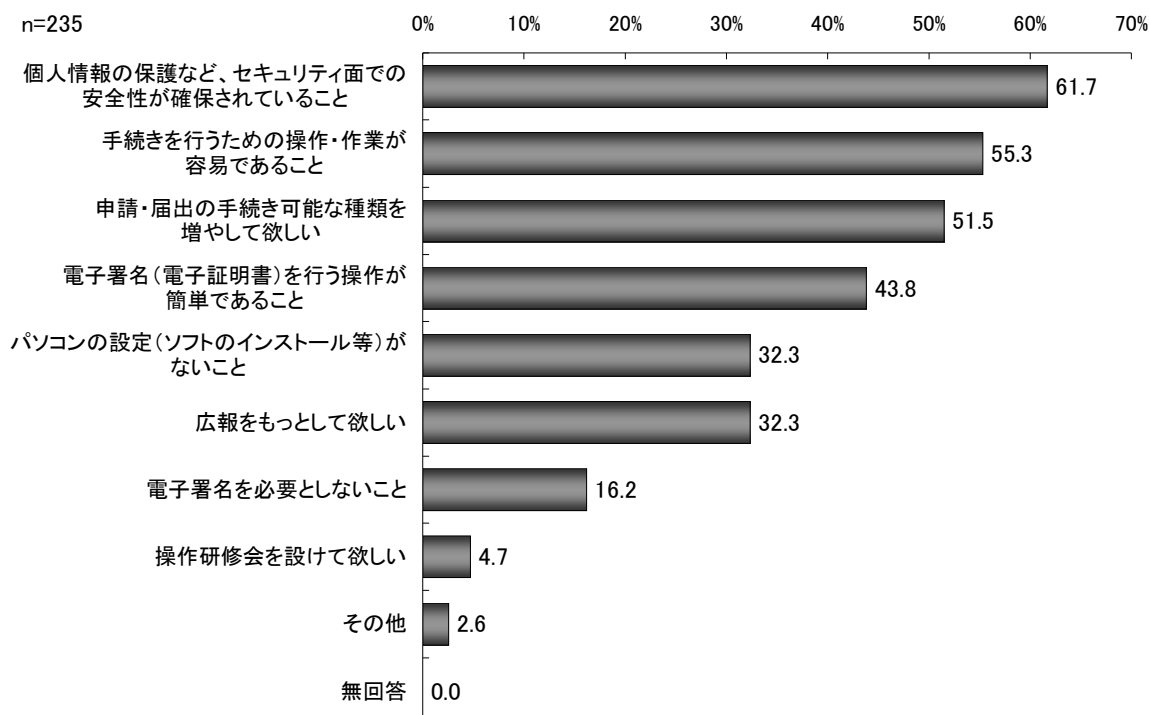
		(利用有無別)電子申請・届出サービスのイメージ [複数回答]					
		全体 (実数) (%)	便利である	登録や準備 に手間がか かりそう	利用の操作 方法が難し そう	その他	無回答
全体		235	64.3	36.6	14.5	3.0	0.0
Q2 利用 経験 有無	利用経験者	59	84.7	15.3	8.5	3.4	0.0
	利用未経験者	176	57.4	43.8	16.5	2.8	0.0

(4) 電子申請・届出サービスに対して希望すること・重視すること

電子申請・届出サービスに対して希望すること・重視することについては、「個人情報の保護など、セキュリティ面での安全性が確保されていること」が61.7%と最も高く、次いで「手続きを行うための操作・作業が容易であること」(55.3%)、「申請・届出の手続き可能な種類を増やして欲しい」(51.5%)の順となっている。

□ Q4.電子申請・届出サービスに対して、希望されること、重視されることは何ですか。[複数回答]

(「電子申請・届出サービスが何かを知らない」という方を除く235名に聞いた)



性別でみると、女性で「個人情報の保護など、セキュリティ面での安全性が確保されていること」(67.4%)、「手続きを行うための操作・作業が容易であること」(60.5%)、「広報をもっとして欲しい」(40.7%)がやや高くなっている。

年代別では、60代以上で「手続きを行うための操作・作業が容易であること」(70.6%)が高くなっている。

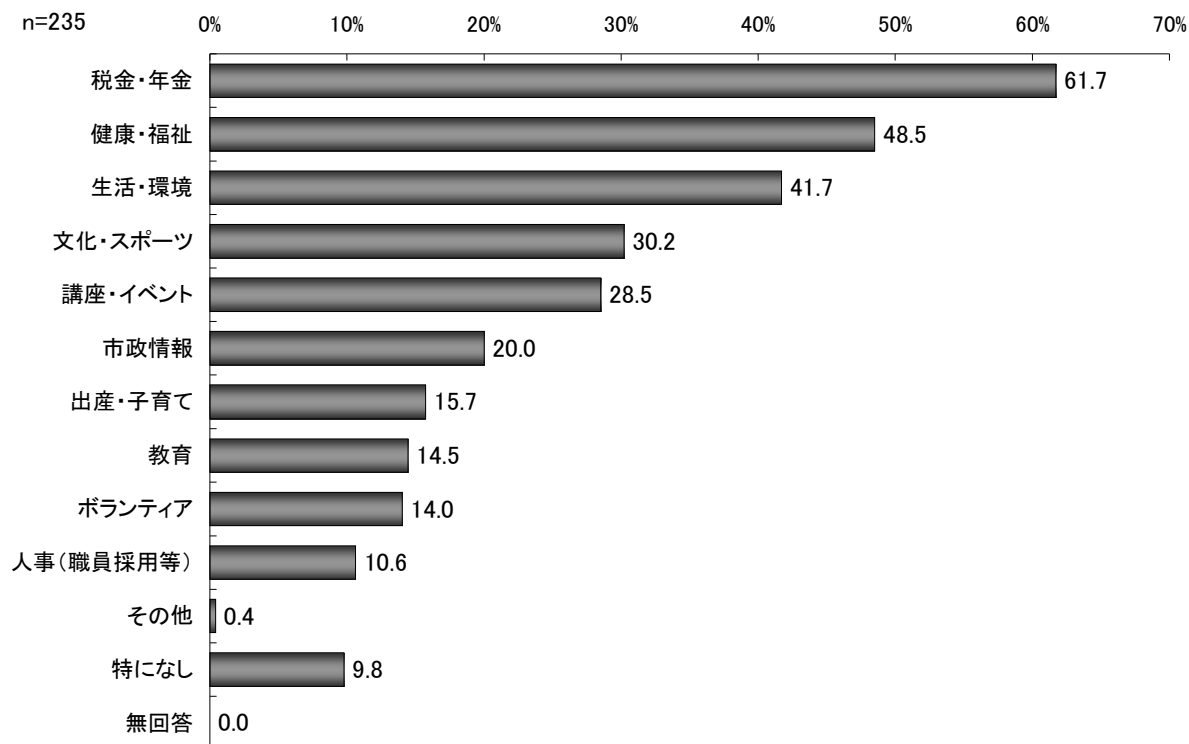
		電子申請・届出サービスに対して希望すること・重視すること [複数回答]										
		全体 (実数) (%)	個人情報の保護など、セキュリティ面での安全性が確保されていること	手続きを行うための操作・作業が容易であること	申請・届出の手続き可能な種類を増やして欲しい	電子署名(電子証明書)を行う操作が簡単であること	パソコンの設定(ソフトのインストール等)がないこと	広報をもっとして欲しい	電子署名を必要としないこと	操作研修会を設けて欲しい	その他	無回答
全体		235	61.7	55.3	51.5	43.8	32.3	32.3	16.2	4.7	2.6	0.0
性別	男性	149	58.4	52.3	50.3	44.3	30.2	27.5	16.8	4.0	3.4	0.0
	女性	86	67.4	60.5	53.5	43.0	36.0	40.7	15.1	5.8	1.2	0.0
年代	20代	25	60.0	60.0	48.0	36.0	48.0	24.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	30代	55	60.0	52.7	60.0	43.6	36.4	29.1	12.7	5.5	0.0	0.0
	40代	71	60.6	49.3	60.6	42.3	32.4	35.2	23.9	2.8	1.4	0.0
	50代	50	62.0	54.0	30.0	44.0	22.0	30.0	10.0	4.0	8.0	0.0
	60代以上	34	67.6	70.6	52.9	52.9	29.4	41.2	11.8	11.8	2.9	0.0
	男性計	149	58.4	52.3	50.3	44.3	30.2	27.5	16.8	4.0	3.4	0.0
性別×年代	20代	14	42.9	50.0	50.0	35.7	35.7	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0
	30代	31	58.1	48.4	71.0	45.2	35.5	19.4	12.9	6.5	0.0	0.0
	40代	39	56.4	43.6	59.0	46.2	28.2	28.2	23.1	2.6	0.0	0.0
	50代	39	61.5	56.4	25.6	43.6	23.1	23.1	12.8	5.1	10.3	0.0
	60代以上	26	65.4	65.4	50.0	46.2	34.6	46.2	15.4	3.8	3.8	0.0
	女性計	86	67.4	60.5	53.5	43.0	36.0	40.7	15.1	5.8	1.2	0.0
	20代	11	81.8	72.7	45.5	36.4	63.6	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0
	30代	24	62.5	58.3	45.8	41.7	37.5	41.7	12.5	4.2	0.0	0.0
	40代	32	65.6	56.3	62.5	37.5	37.5	43.8	25.0	3.1	3.1	0.0
	50代	11	63.6	45.5	45.5	45.5	18.2	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0
60代以上	8	75.0	87.5	62.5	75.0	12.5	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0	

(5) 電子申請・届出サービスで今後利用したい分野

電子申請・届出サービスで今後利用したい分野については、「税金・年金」が61.7%と最も高く、6割を超えている。次いで「健康・福祉」(48.5%)、「生活・環境」(41.7%)の順となっている。

□ Q5.電子申請・届出サービスで今後利用してみたい分野は何ですか。[複数回答]

(「電子申請・届出サービスが何かを知らない」という方を除く235名に聞いた)



性別でみると、女性で「健康・福祉」(55.8%)、「講座・イベント」(34.9%)、「出産・子育て」(22.1%)、「教育」(22.1%)がやや高くなっている一方、「税金・年金」(55.8%)、「生活・環境」(34.9%)、「市政情報」(14.0%)がやや低くなっている。

年代別でみると、30代で「出産・子育て」(40.0%)が、60代以上で「健康・福祉」(64.7%)、「講座・イベント」(50.0%)、「市政情報」(35.3%)が高くなっている。一方、「出産・子育て」が50代(2.0%)、60代以上(0.0%)で、「教育」が60代以上(2.9%)で低くなっている。

		電子申請・届出サービスで今後利用したい分野 [複数回答]													
		全体 (実数)	税金・ 年金	健康・ 福祉	生活・ 環境	文化・ スポー ツ	講座・ イベン ト	市政 情報	出産・ 子育て	教育	ボラン ティア	人事 (職員採 用等)	その他	特になし	無回答
全体		235	61.7	48.5	41.7	30.2	28.5	20.0	15.7	14.5	14.0	10.6	0.4	9.8	0.0
性別	男性	149	65.1	44.3	45.6	29.5	24.8	23.5	12.1	10.1	11.4	9.4	0.7	11.4	0.0
	女性	86	55.8	55.8	34.9	31.4	34.9	14.0	22.1	18.6	12.8	0.0	7.0	0.0	
年代	20代	25	48.0	32.0	24.0	40.0	24.0	20.0	20.0	8.0	8.0	12.0	0.0	16.0	0.0
	30代	55	54.5	47.3	34.5	25.5	25.5	10.9	40.0	21.8	12.7	5.5	0.0	14.5	0.0
	40代	71	63.4	53.5	49.3	28.2	28.2	15.5	12.7	19.7	14.1	12.7	1.4	5.6	0.0
	50代	50	70.0	40.0	44.0	40.0	20.0	26.0	2.0	10.0	12.0	16.0	0.0	8.0	0.0
	60代以上	34	67.6	64.7	47.1	20.6	50.0	35.3	0.0	2.9	23.5	5.9	0.0	8.8	0.0
性別 × 年代	男性計	149	65.1	44.3	45.6	29.5	24.8	23.5	12.1	10.1	11.4	9.4	0.7	11.4	0.0
	20代	14	64.3	35.7	28.6	42.9	21.4	35.7	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0
	30代	31	61.3	41.9	38.7	22.6	19.4	9.7	29.0	22.6	12.9	3.2	0.0	19.4	0.0
	40代	39	64.1	43.6	56.4	25.6	17.9	15.4	12.8	7.7	5.1	10.3	2.6	7.7	0.0
	50代	39	69.2	38.5	46.2	43.6	23.1	30.8	2.6	10.3	12.8	15.4	0.0	10.3	0.0
	60代以上	26	65.4	61.5	46.2	15.4	46.2	34.6	0.0	0.0	19.2	7.7	0.0	11.5	0.0
	女性計	86	55.8	55.8	34.9	31.4	34.9	14.0	22.1	22.1	18.6	12.8	0.0	7.0	0.0
	20代	11	27.3	27.3	18.2	36.4	27.3	0.0	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	27.3	0.0
	30代	24	45.8	54.2	29.2	29.2	33.3	12.5	54.2	20.8	12.5	8.3	0.0	8.3	0.0
	40代	32	62.5	65.6	40.6	31.3	40.6	15.6	12.5	34.4	25.0	15.6	0.0	3.1	0.0
	50代	11	72.7	45.5	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0
60代以上	8	75.0	75.0	50.0	37.5	62.5	37.5	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	

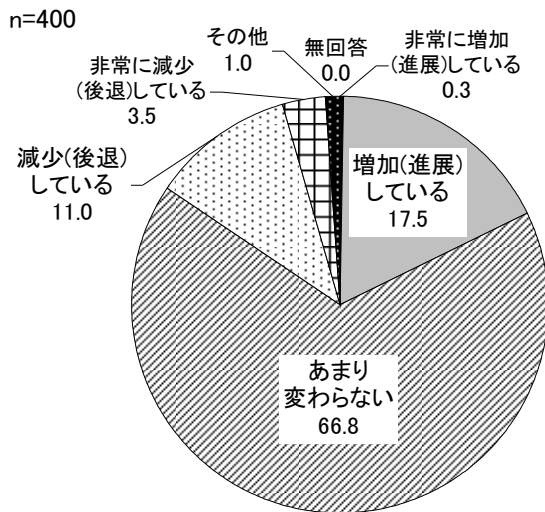
4 市民による自治活動(住民自治)について

(1) 市民と行政との協働・連携によるまちづくりの進展について

市民間や市民と行政との協働・連携によるまちづくりについて、どの程度進んでいると感じているかたずねたところ、「あまり変わらない」が66.8%と最も高くなっている。次いで「増加(進展)している」が17.5%、「減少(後退)している」が11.0%となっている。

なお、「非常に増加(進展)している」(0.3%)、「非常に減少(後退)している」(3.5%)をそれぞれ含めても、「増加(進展)」が17.8%と、「減少(後退)」の14.5%をやや上回っている。

□ Q6.自然環境の保全、祭り、地域づくり、子育て、教育、福祉、防災や防犯の分野などで、市民間や市民と行政との協働・連携によるまちづくりが行われていますが、どの程度進んでいると感じていますか。



性別でみると、女性で増加(進展)（「非常に増加(進展)している」と「増加(進展)している」の合計）が20.0%と男性に比べやや高いものの、大きな差はみられない。

年代別でみると、20代で増加(進展)が28.4%とやや高くなっており、減少(後退)が7.5%とやや低くなっている。また、40代で増加(進展)が11.2%とやや低くなっており、「あまり変わらない」が74.8%とやや高くなっている。60代以上では、増加(進展)が23.9%でやや高くなっており、「あまり変わらない」が56.5%と低くなっている。

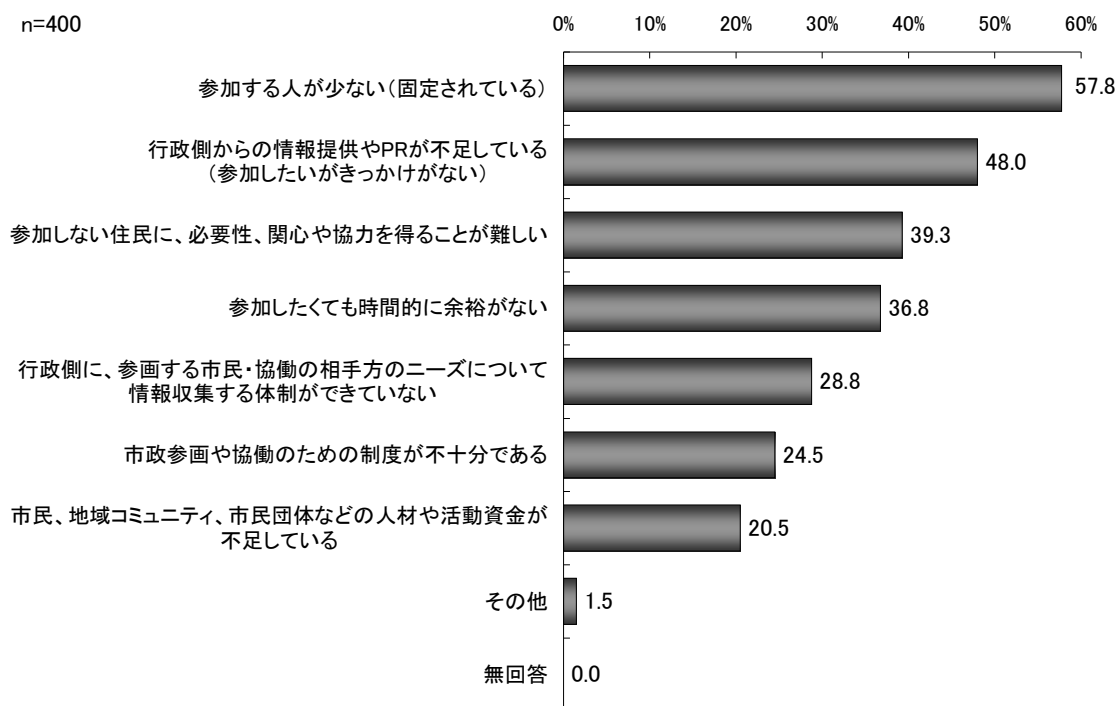
		市民と行政との協働・連携によるまちづくりの進展について									
		全体 (実数)	増加 (進展)	非常に増加 (進展)して いる	増加(進展) している	あまり 変わらない	減少 (後退)	減少(後退) している	非常に減少 (後退)して いる	その他	無回答
		(%)									
全体		400	17.8	0.3	17.5	66.8	14.5	11.0	3.5	1.0	0.0
性別	男性	235	16.2	0.4	15.7	66.8	15.7	11.1	4.7	1.3	0.0
	女性	165	20.0	0.0	20.0	66.7	12.7	10.9	1.8	0.6	0.0
年代	20代	67	28.4	1.5	26.9	62.7	7.5	4.5	3.0	1.5	0.0
	30代	97	18.6	0.0	18.6	63.9	17.5	13.4	4.1	0.0	0.0
	40代	107	11.2	0.0	11.2	74.8	13.1	10.3	2.8	0.9	0.0
	50代	83	13.3	0.0	13.3	68.7	16.9	14.5	2.4	1.2	0.0
	60代以上	46	23.9	0.0	23.9	56.5	17.4	10.9	6.5	2.2	0.0
性別 × 年代	男性計	235	16.2	0.4	15.7	66.8	15.7	11.1	4.7	1.3	0.0
	20代	35	25.7	2.9	22.9	57.1	14.3	8.6	5.7	2.9	0.0
	30代	50	12.0	0.0	12.0	70.0	18.0	12.0	6.0	0.0	0.0
	40代	60	10.0	0.0	10.0	71.7	16.7	11.7	5.0	1.7	0.0
	50代	55	10.9	0.0	10.9	74.5	14.5	12.7	1.8	0.0	0.0
	60代以上	35	31.4	0.0	31.4	51.4	14.3	8.6	5.7	2.9	0.0
	女性計	165	20.0	0.0	20.0	66.7	12.7	10.9	1.8	0.6	0.0
	20代	32	31.3	0.0	31.3	68.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	47	25.5	0.0	25.5	57.4	17.0	14.9	2.1	0.0	0.0
	40代	47	12.8	0.0	12.8	78.7	8.5	8.5	0.0	0.0	0.0
50代	28	17.9	0.0	17.9	57.1	21.4	17.9	3.6	3.6	0.0	
60代以上	11	0.0	0.0	0.0	72.7	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	

(2) まちづくりや市政への参加や協働を推進する上での問題点・課題

まちづくりや市政への参加や協働を推進する上での問題点・課題については、「参加する人が少ない（固定されている）」が57.8%と最も高くなっている。次いで「行政側からの情報提供やPRが不足している（参加したいがきっかけがない）」（48.0%）、「参加しない住民に、必要性、関心や協力を得ることが難しい」（39.3%）、「参加したくても時間的に余裕がない」（36.8%）の順となっている。

「その他」の内容としては、「高齢化が進み、参加が難しい」（50代男性）や「市行政が事務的で、市民の立場に立っていないように感じる」（60代男性）などの意見があった。

□ Q7.まちづくりや市政への参加や協働を推進する上での問題点・課題と思われるものは何ですか。[複数回答]



性別で見ると、女性で「市民、地域コミュニティ、市民団体などの人材や活動資金が不足している」が26.1%とやや高くなっている一方、「参加したくても時間的に余裕がない」が30.3%と全体に比べやや低くなっている。

年代別で見ると、20代で「参加しない住民に、必要性、関心や協力を得ることが難しい」が49.3%と高くなっている。また、60代以上で「行政側に、参画する市民・協働の相手方のニーズについて情報収集する体制ができていない」が39.1%と高くなっている一方、「参加しない住民に、必要性、関心や協力を得ることが難しい」が26.1%、「参加したくても時間的に余裕がない」が15.2%と低くなっている。

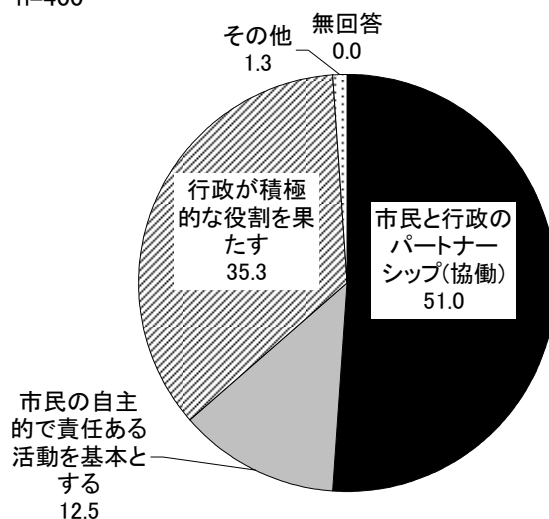
		まちづくりや市政への参加や協働を推進する上での問題点・課題 [複数回答]									
		全体 (実数)	参加する人が少ない(固定されている)	行政側からの情報提供やPRが不足している(参加したいがきっかけがない)	参加しない住民に、必要性、関心や協力を得ることが難しい	参加したくても時間的に余裕がない	行政側に、参画する市民・協働の相手方のニーズについて情報収集する体制ができていない	市政参画や協働のための制度が十分である	市民、地域コミュニティ、市民団体などの人材や活動資金が不足している	その他	無回答
(%)											
全体		400	57.8	48.0	39.3	36.8	28.8	24.5	20.5	1.5	0.0
性別	男性	235	56.6	48.9	37.9	41.3	31.1	27.2	16.6	2.1	0.0
	女性	165	59.4	46.7	41.2	30.3	25.5	20.6	26.1	0.6	0.0
年代	20代	67	56.7	47.8	49.3	35.8	23.9	19.4	25.4	0.0	0.0
	30代	97	57.7	43.3	40.2	41.2	22.7	24.7	16.5	1.0	0.0
	40代	107	54.2	47.7	43.9	38.3	28.0	21.5	20.6	0.0	0.0
	50代	83	61.4	53.0	31.3	42.2	34.9	27.7	16.9	3.6	0.0
	60代以上	46	60.9	50.0	26.1	15.2	39.1	32.6	28.3	4.3	0.0
	男性計	235	56.6	48.9	37.9	41.3	31.1	27.2	16.6	2.1	0.0
性別 × 年代	20代	35	57.1	48.6	48.6	40.0	22.9	20.0	25.7	0.0	0.0
	30代	50	54.0	44.0	38.0	48.0	22.0	28.0	6.0	2.0	0.0
	40代	60	53.3	50.0	45.0	43.3	33.3	23.3	13.3	0.0	0.0
	50代	55	61.8	50.9	30.9	49.1	38.2	29.1	20.0	3.6	0.0
	60代以上	35	57.1	51.4	25.7	17.1	37.1	37.1	22.9	5.7	0.0
	女性計	165	59.4	46.7	41.2	30.3	25.5	20.6	26.1	0.6	0.0
	20代	32	56.3	46.9	50.0	31.3	25.0	18.8	25.0	0.0	0.0
	30代	47	61.7	42.6	42.6	34.0	23.4	21.3	27.7	0.0	0.0
	40代	47	55.3	44.7	42.6	31.9	21.3	19.1	29.8	0.0	0.0
	50代	28	60.7	57.1	32.1	28.6	28.6	25.0	10.7	3.6	0.0
60代以上	11	72.7	45.5	27.3	9.1	45.5	18.2	45.5	0.0	0.0	

(3) 住民自治の実現のために、市民と行政との望ましいと思う自治のあり方

住民自治の実現のために、市民と行政との望ましいと思う自治のあり方については、「市民、地域コミュニティ、市民団体などと行政のパートナーシップ（協働）によりそれぞれが役割と責任を果たす」が51.0%と最も高く、市民と行政のパートナーシップ（協働）を求める声が半数を超えている。次いで「地域社会のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす」（35.3%）、「市民、地域コミュニティ、市民団体などの自主的で責任ある活動を基本とする、行政のかかわりはなるべく少なくする」（12.5%）の順となっている。

□ Q8.住民自治の実現のために、市民と行政との望ましいと思う自治のあり方はどれですか。

n=400



性別では、大きな差はみられない。

年代別でみると、「市民と行政のパートナーシップ（協働）」が20代(59.7%)でやや高くなっている。一方、「市民の自主的で責任ある活動を基本とする」が50代(18.1%)で、「行政が積極的な役割を果たす」が30代(41.2%)、40代(42.1%)でやや高くなっている。

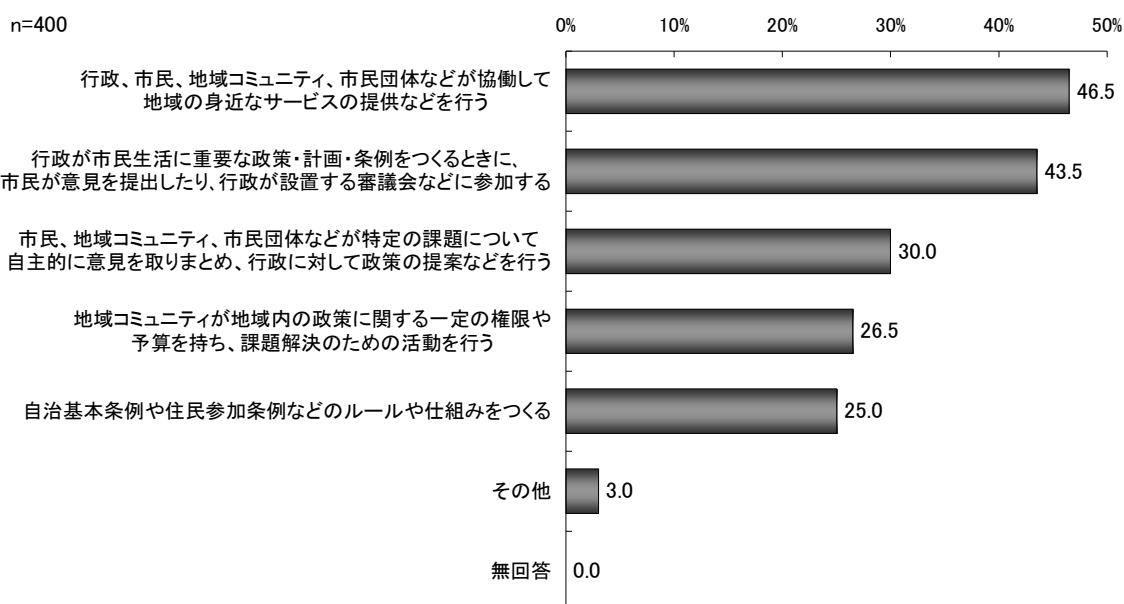
		住民自治の実現のために、市民と行政との望ましいと思う自治のあり方					
		全体 (実数) (%)	市民、地域コミュニティ、市民団体などと行政のパートナーシップ(協働)によりそれぞれが役割と責任を果たす	市民、地域コミュニティ、市民団体などの自主的で責任ある活動を基本として、行政のかかわりはなるべく少なくする	地域社会のつながりが弱体化しているため、行政が積極的な役割を果たす	その他	無回答
全体		400	51.0	12.5	35.3	1.3	0.0
性別	男性	235	48.1	13.2	38.3	0.4	0.0
	女性	165	55.2	11.5	30.9	2.4	0.0
年代	20代	67	59.7	13.4	25.4	1.5	0.0
	30代	97	50.5	8.2	41.2	0.0	0.0
	40代	107	46.7	10.3	42.1	0.9	0.0
	50代	83	54.2	18.1	26.5	1.2	0.0
	60代以上	46	43.5	15.2	37.0	4.3	0.0
性別×年代	男性計	235	48.1	13.2	38.3	0.4	0.0
	20代	35	62.9	11.4	25.7	0.0	0.0
	30代	50	40.0	10.0	50.0	0.0	0.0
	40代	60	43.3	10.0	46.7	0.0	0.0
	50代	55	50.9	20.0	29.1	0.0	0.0
	60代以上	35	48.6	14.3	34.3	2.9	0.0
	女性計	165	55.2	11.5	30.9	2.4	0.0
	20代	32	56.3	15.6	25.0	3.1	0.0
	30代	47	61.7	6.4	31.9	0.0	0.0
	40代	47	51.1	10.6	36.2	2.1	0.0
50代	28	60.7	14.3	21.4	3.6	0.0	
60代以上	11	27.3	18.2	45.5	9.1	0.0	

(4) 地域住民自らが地域の課題に取り組むことができる仕組みとして望ましいもの

地域住民自らが地域の課題に取り組むことができる仕組みとして望ましいものについては、「行政、市民、地域コミュニティ、市民団体などが協働して地域の身近なサービスの提供などを行う」が46.5%、「行政が市民生活に重要な政策・計画・条例をつくるときに、市民が意見を提出したり、行政が設置する審議会などに参加する」が43.5%とともに4割を超えている。次いで「市民、地域コミュニティ、市民団体などが特定の課題について自主的に意見を取りまとめ、行政に対して政策の提案などを行う」(30.0%)、「地域コミュニティが地域内の政策に関する一定の権限や予算を持ち、課題解決のための活動を行う」(26.5%)の順となっている。

「その他」の内容としては、「策定されたプランが効果的に実施されているかチェックする仕組み」(50代男性)や「行政側の敷居を低くする。十代の若者達にも参加してもらい、地域について考えたり意見を述べるなど体験してもらおう」(40代女性)、「ネットワーク&SNSを活用して幅広く気軽に市民が参加できるようにする」(40代男性)などの意見があった。

□ Q9.前問で住民自治のあり方についてお尋ねしましたが、住民自治を進めていくためには、地域住民自らが地域の課題に取り組むことができるような仕組みが必要であるといわれています。その仕組みとして望ましいと思うものはどれですか。[複数回答]



性別で見ると、女性で「行政、市民、地域コミュニティ、市民団体などが協働して地域の身近なサービスの提供などを行う」が53.3%とやや高くなっている。

年代別で見ると、60代以上で「自治基本条例や住民参加条例などのルールや仕組みをつくる」が37.0%と高くなっている。

		地域住民自らが地域の課題に取り組むことができる仕組みとして望ましいもの [複数回答]							
		全体 (実数)	行政、市民、地域コミュニティ、市民団体などが協働して地域の身近なサービスの提供などを行う	行政が市民生活に重要な政策・計画・条例をつくるときに、市民が意見を提出したり、行政が設置する審議会などに参加する	市民、地域コミュニティ、市民団体などが特定の課題について自主的に意見を取りまとめ、行政に対して政策の提案などを行う	地域コミュニティが地域内の政策に関する一定の権限や予算を持ち、課題解決のための活動を行う	自治基本条例や住民参加条例などのルールや仕組みをつくる	その他	無回答
		(%)							
全体		400	46.5	43.5	30.0	26.5	25.0	3.0	0.0
性別	男性	235	41.7	42.6	30.2	24.3	27.2	3.4	0.0
	女性	165	53.3	44.8	29.7	29.7	21.8	2.4	0.0
年代	20代	67	41.8	50.7	32.8	23.9	23.9	1.5	0.0
	30代	97	46.4	43.3	34.0	29.9	27.8	1.0	0.0
	40代	107	44.9	40.2	24.3	26.2	23.4	1.9	0.0
	50代	83	48.2	42.2	27.7	30.1	18.1	3.6	0.0
	60代以上	46	54.3	43.5	34.8	17.4	37.0	10.9	0.0
性別 × 年代	男性計	235	41.7	42.6	30.2	24.3	27.2	3.4	0.0
	20代	35	25.7	51.4	37.1	20.0	22.9	2.9	0.0
	30代	50	40.0	38.0	38.0	28.0	28.0	2.0	0.0
	40代	60	38.3	40.0	26.7	26.7	28.3	1.7	0.0
	50代	55	49.1	38.2	21.8	25.5	21.8	1.8	0.0
	60代以上	35	54.3	51.4	31.4	17.1	37.1	11.4	0.0
	女性計	165	53.3	44.8	29.7	29.7	21.8	2.4	0.0
	20代	32	59.4	50.0	28.1	28.1	25.0	0.0	0.0
	30代	47	53.2	48.9	29.8	31.9	27.7	0.0	0.0
	40代	47	53.2	40.4	21.3	25.5	17.0	2.1	0.0
50代	28	46.4	50.0	39.3	39.3	10.7	7.1	0.0	
60代以上	11	54.5	18.2	45.5	18.2	36.4	9.1	0.0	